

KDDI Flex Remote Access

**VPN 接続手順・  
操作マニュアル**

Windows(R) 10 Mobile 版

2016 年 11 月  
KDDI 株式会社

Ver.1.0

1	はじめに	3
2	Windows (R) 10 Mobile での「KDDI Flex Remote Access」利用	4
2.1	Windows(R) 10 Mobile デバイスの VPN 接続について	4
2.2	接続環境について	4
3	端末設定方法	5
3.1	インストール権限	5
3.2	Windows(R)ストアへのアクセス	5
3.3	ソフトウェアのインストール	6
3.4	VPNに関する設定	7
3.5	FRE への接続	9
3.6	接続解除の方法	11
3.7	設定項目の誤入力時の場合	12

## 1 はじめに

- ※ 本資料に記載されている内容に関しましては、KDDI 株式会社の都合により変更することがある旨をご了承ください。
- ※ 本サービスご利用前に、本資料を必ずお読みください。
- ※ 免責事項・注意事項をご承諾いただけない場合、本サービス利用はお控えください。

本資料の一部または全部を「KDDI Flex Remote Access」の利用者もしくは運用者以外に対して開示・配布・譲渡すること、「KDDI Flex Remote Access」以外の利用目的にて用いることを禁じます。

本資料は、「KDDI Flex Remote Access」をご利用いただく上で最低限の事項のみ記述しています。KDDI は本資料の作成に当たり、サービス提供上問題が発生しないよう、細心の注意を払っていますが、この資料に記載された内容に準拠した端末設定にて利用された場合においても、KDDI はお客さまアプリケーションの接続性を保証するものではありません。

「KDDI Flex Remote Access」上でご利用になられるアプリケーションに関する一切の質問は、受け付けることができません。アプリケーションおよびサーバ・ルータなどネットワーク機器に関するお問い合わせは導入ベンダー/メーカーさまへお問い合わせください。

設定方法・仕様などは、KDDI の都合により、予告なしに変更される可能性がありますのであらかじめご了承ください。なお、問題点・変更点などを発見した場合はお手数ですが KDDI 法人営業担当者までお気付きの点をご連絡ください。今後の資料作成に反映させていただきます。

## 2 Windows (R) 10 Mobile での「KDDI Flex Remote Access」利用

本ドキュメントは、『Windows(R) 10 Mobile』用となりますので、Windows(R) 10 (パソコン・タブレット)などの場合は、『Windows(R)版』のドキュメントをご参照ください。

### 2.1 Windows(R) 10 Mobile デバイスの VPN 接続について

「KDDI Flex Remote Access」は、パソコン・スマートフォン・タブレット端末から、専用閉域網・インターネットを経由して「KDDI Wide Area Virtual Switch」への接続を可能とするリモートアクセス型サービスです。

Windows(R) 10 Mobile デバイスには、Windows(R)ストアより専用のVPNソフトウェアをダウンロード/インストールすることで「KDDI Flex Remote Access」サービスをご利用いただけます。

### 2.2 接続環境について

「KDDI Flex Remote Access」は、SSL-VPN 機能を拡張した VPN 技術を利用しています。お客さまご利用環境下において、UDP:53(DNS) / TCP:443(TLS) / UDP:443(DTLS)の疎通が確保できている必要があります。

また Proxy サーバ経由での接続も可能ですが、Proxy サーバにおいて TCP:443(TLS) / UDP:443(DTLS)の接続が確保されている必要があります。

※Proxy サーバ経由での接続の場合、VPN 内通信に対しての通信時も Proxy 設定を流用してしまうため、Proxy 経由通信については注意が必要です。

※DTLS 通信(UDP:443)が利用できる環境下においてファイアウォールが介在する場合は、ファイアウォールセッション消失の可能性があるため、UDP セッション維持時間を長めにする必要があります。(UDP セッション維持時間の設定が短いと、通信途中で VPN が不安定になる(応答がなくなる)事象が発生する可能性があります)

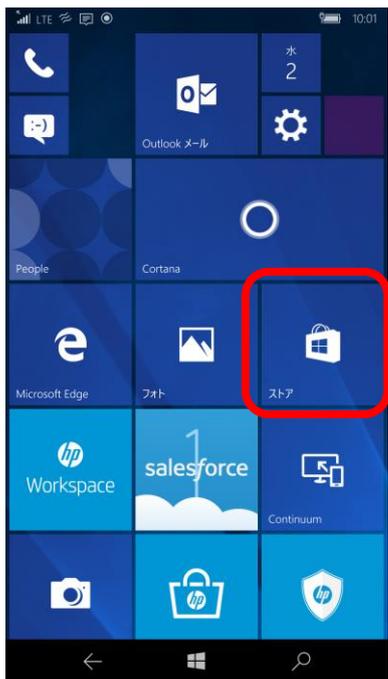
### 3 端末設定方法

以下の手順にてインストール/設定してください。

#### 3.1 インストール権限

クライアントソフトウェアをインストールするために必要な権限を保有していることが必要です。

#### 3.2 Windows(R)ストアへのアクセス



『ストア』へアクセスします。  
※利用時には Microsoft(R)アカウントが必要です。



『anyconnect』と検索し、表示された  
『Cisco AnyConnect』を選択します。

### 3.3 ソフトウェアのインストール



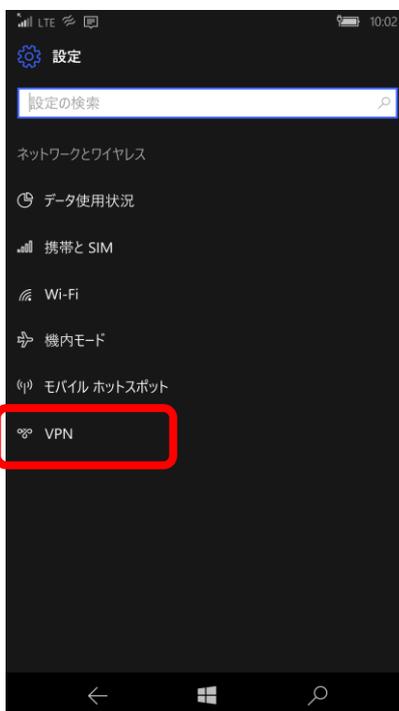
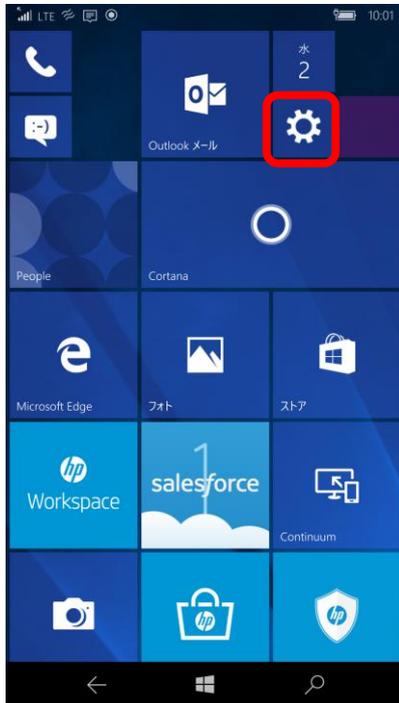
AnyConnect をインストールします。  
【インストール】ボタンをタップします。



『インストールが終了しました。ご確認ください。』  
のメッセージが表示されます。  
【起動】ボタンをタップして、AnyConnect の起動を  
確認します。

### 3.4 VPNに関する設定

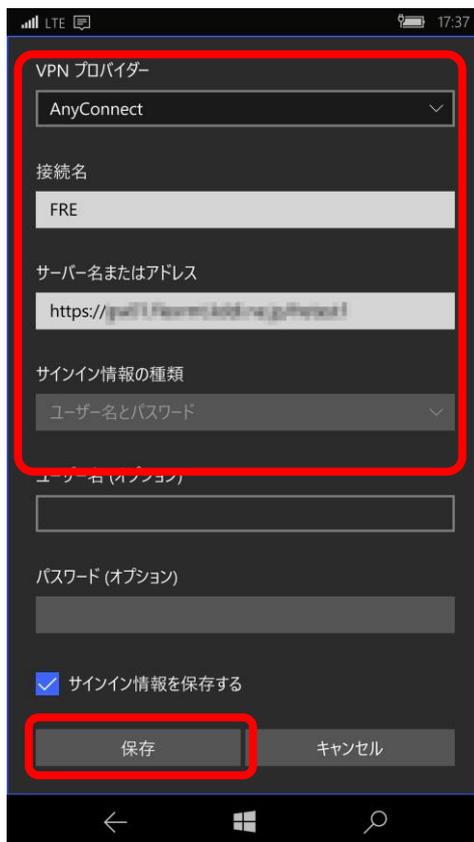
VPNに関する設定は、OSの設定で行います。【ネットワークとワイヤレス】を選択し、【VPN】の設定画面を開きます。



【VPN】を選択します。



【+】VPN 接続を追加する  
をタップして、VPN 接続に関する設定を行います。



- ・【VPN プロバイダー】には【AnyConnect】とします
- ・【接続名】は任意の名称を入力します
- ・【サーバー名またはアドレス】には、開通案内記載の接続先 URL(https://gwXX.....)を入力します
- ・【サインインの情報の種類】には【ユーザー名とパスワード】とします

【保存】ボタンを押して、この VPN 設定を保存します。

### 3.5 FRE への接続



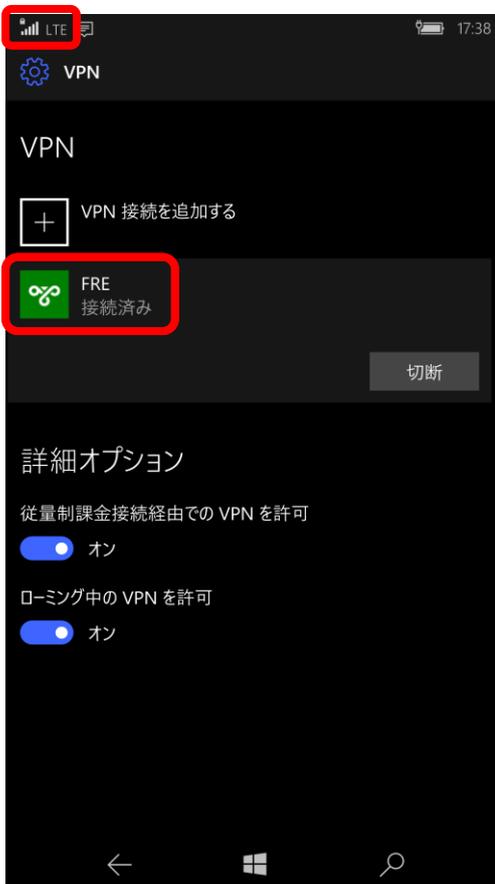
『3.4 VPNに関する設定』で作成したエントリーをタップします。



【接続】ボタンをタップします。



お客さま監理者より指定されたユーザー名とパスワードを入力します。  
ユーザー名は、『@』を含むメールアドレス形式となります。  
入力後、【次へ】をタップします。



FRE へ接続が完了すると『接続済み』と表示され、画面左上に鍵マークが表示されます。



### 3.6 接続解除の方法



『3.5 FRE への接続』で接続した VPN のエントリーにて【切断】ボタンをタップすると VPN が切断されます。

### 3.7 設定項目の誤入力時の場合

各設定項目の入力を間違った場合、各種エラー表示が出ます。

#### ■ エラー表示の例

- ユーザー名/パスワード入力が間違っていた場合



- 接続先 URL 設定が間違っていた場合



Windows(R)からエラーコードが表示されます。  
設定を見直して修正してください。また、端末を再起動してから再度接続してください。

改版履歴

◆ 2016年11月16日 Ver 1.0 リリース